

第20回全国消防救助シンポジウムの開催

参事官

平成29年12月12日（火）、「関係機関との連携強化がもたらす救助活動の効率化」をテーマに、第20回全国消防救助シンポジウムを東京都文京区の文京シビックホールにおいて開催しました。



祝辞を述べる村上全国消防長会会長

稲山消防庁長官の開会挨拶（次々頁に掲載）に続き、村上全国消防長会会長から祝辞をいただいた後、東京医科歯科大学大学院の友友康裕氏から「集団災害時における機関間の対応の平準化について」、内閣官房副長官補付内閣参事官岩下剛氏から「『NBCテロその他大量殺傷型テロ対処現地関係機関連携モデル』を活用した各機関の連携強化と対処能力の向上について」、それぞれ御講演いただきました。



大友康裕氏の講演



岩下剛氏の講演

また、全国の消防職員・救助隊員を代表して、6名の方に事例研究発表をしていただきました。高い問題意識と旺盛な探究心を持って知識の習得や創意工夫に努め、平時から体制整備や実践的な訓練の実施、必要となる資機材の整備に積極的に取り組んでいる姿を伝えていただきました。総合討論では、講演者、特別報告者、事例研究発表者、更には会場の出席者を交えて活発な意見交換が行われました。これらに加え、大阪市消防局の本土淳一郎氏には土砂災害時の効果的な救助手法を御紹介いただきました。



本土淳一郎氏の講演



総合討論の様子

本シンポジウムは、全国各地から約1,800人の消防防災関係者が一堂に会し、お互いの経験や新たな取組に関する情報の共有化が図られ、大変活気のある有意義なものでした。本シンポジウムが我が国の救助体制のより一層の充実に寄与することを期待します。（当日の記録集については、年度末に消防庁ホームページに掲載予定。）

第20回全国消防救助シンポジウム プログラム

I 開会あいさつ

消防庁長官 稲山 博司

II 来賓祝辞

全国消防長会 会長 村上 研一 様

III 講演

集団災害時における機関間の対応の平準化について～テロ対応も含めて～
東京医科歯科大学大学院救急災害医学 教授 大友 康裕 氏

IV 特別報告

土砂災害時における救助活動検証結果報告
大阪市消防局警防部警防課（救助） 本土 淳一郎 氏

V 講演

『NBCテロその他大量殺傷型テロ対処現地関係機関連携モデル』を活用した各機関の連携強化と対処能力の向上について
内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付 内閣参事官 岩下 剛 氏

VI 事例研究発表

※発表順

消防本部名	氏名	演題
神戸市消防局	宮中 智弘	他機関連携を標準化させる取り組み
鳥取県西部広域行政管理組合消防局	重親 弘範	防災関係機関との更なる連携強化に向かって
山武郡市広域行政組合消防本部	宇津木 章	国家的規模のイベント開催に備えた「多機関合同連携訓練」の実施について
東京消防庁	伴 尚樹	関係機関との連携強化がもたらした奏功事例
岡山市消防局	渡邊 敏規	災害対応ピクトグラムの開発～大学機関との連携による1年の軌跡～
川崎市消防局	飯岡 将俊	警察機関との連携強化について

VI 総合討論

「討論テーマ：関係機関との連携」
司会：消防庁国民保護・防災部 参事官補佐 布川 賢治

VII 閉会あいさつ

消防庁国民保護・防災部 参事官 上村 昇

稲山消防庁長官の開会挨拶

第20回全国消防救助シンポジウムの開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

まずは、救助隊員の皆様には、本年7月の「九州北部豪雨災害」をはじめ、過酷な活動環境下であっても高い救助技術を駆使し、多くの国民を救助されていることに対し、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

また本日は、全国消防長会村上会長に御出席いただき、心からお礼申し上げます。さらに、大友様、岩下様には大変お忙しい中にも関わらず、講師として御出席いただき厚くお礼申し上げます。

そして、全国各地から約1,800名の消防関係機関の方々をお迎えして、このシンポジウムを開催できることを、主催者を代表して、深く感謝申し上げます。

さて、交通事故救助や山岳救助はもとより、近年、頻発する大規模な自然災害や海外で頻発しているテロ災害をはじめとする特殊災害等、年々多種多様化していく災害現場におきまして、消防職員にはより一層レベルの高い救助技術が求められております。

災害現場では消防機関以外の関係機関と連携して活動することも多く、これまでも連携強化を図ってきたところではありますが、関係機関とより一層密接な関係を築き、連携した活動でいち早く要救助者を救出することは、地域住民を救助するという観点からしても、非常に重要なポイントの一つとなります。

本日のシンポジウムでは「関係機関との連携強化がもたらす救助活動の効率化」をメインテーマとし、大友教授からは多数傷病者対応の御経験を踏まえ、他機関連携の重要性や課題等を示していただきます。また、岩下内閣参事官には「NBCテロその他大量殺傷型テロ対処現地関係機関連携モデル」を題材に、関係機関が連携することの必要性や重要性をアドバイスしていただくとともに、大阪市消防局には平成26年度から実施していただいている土砂災



稲山消防庁長官の開会挨拶

害時における救助活動検証に関する最終結果を報告していただきます。

また、全国の救助隊員を代表して、6名の方から、関係機関との連携力強化の取組やそれが功を奏した実災害における対応事例などを発表していただくこととしております。

今回のシンポジウムが、救助に携わる皆様の情報共有の場となり、また、救助能力の向上に大いに寄与することを期待しております。

さて、本年度は昭和23年3月7日に消防組織法が施行されまして、市町村消防の原則に基づく今日の自治体消防制度が確立して以来、70周年を迎える記念すべき年です。

消防庁では、記念事業を通じて、国民の安心・安全な生活を確保するという消防に課せられた使命の重要性を再認識し、更なる消防防災体制の充実強化を図ってまいります。

全国の消防機関の皆様におかれましても、平素からの備えをより一層強固なものとし、あらゆる災害に万全な体制をとっていただきますことをお願い申し上げます。

結びに全国の消防関係機関のますますの発展と、御臨席の皆様の御健勝を祈念しまして、挨拶といたします。

問合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付救助係
総務事務官 平田 一博
TEL: 03-5253-7507